

本学学生・教職員のみなさまへ

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)に注意しましょう！！

1. 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の特徴

- ★ ムンプスウイルスによる感染症です。
- ★ 感染力は弱いほうです。
- ★ 患者さんからの咳(飛沫)や汚染した手指(接触)から感染します。
- ★ 成人が感染すると、小児より重症化する傾向があります。

2. 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の症状

- 潜伏期:感染してから約2~3週間です。
- 耳下腺の腫れ:耳下腺部(耳たぶ~耳の前のあごのラインに沿って)が腫れます。普通は、片側から始まり1~2日のうちに両側が腫れてきます。(ただ、4人に1人くらいは、片側だけしか腫れない人がいます)
- 腫れは痛みがありますが、赤くなったりはせず、3日間くらいでピークをむかえ、1週間から10日間程度で消失します。
- 頭痛・精巣炎・睪炎等を合併する可能性もあります。
- 発熱:約80%の人に発熱があります。38~39度くらいの発熱が多く、合併症がなければ1~3日程度が多いようです。

* 人にうつす可能性のある時期:「耳下腺が腫れる6~7日間前から発病後9日くらい。」

3. その他の注意事項

- ・ 学校保健安全法により、

「流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)と診断されたら耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が始まった後5日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで出席停止」となっています。

お問い合わせは各キャンパス保健センターまで

戸畑:093-884-3065

E-mail:hok-hoken@jimu.kyutech.ac.jp

飯塚:0948-29-7513

E-mail:hok-jhohoken@jimu.kyutech.ac.jp

若松:093-695-6017

E-mail:hok-sehoken@jimu.kyutech.ac.jp

